

情報システム学会 Psytech 研究会 第1回会合のご案内  
「理想の実現パターン」の実践事例

Psytech 研究会は、前身である IT 技術者のためのウェル・ビーイング研究会（2013 年度～）、IS 技術者のための Psytech 研究会（2017～2019 年度）、IS 技術者のための Psytech2020 研究会（2020～2022 年度）を含めこれまで IS 技術者の心の問題、とりわけ幸福ややりがい感に焦点を当て活動を進めてきました。

2020 年度に開催したオンライン会合「IS 技術者のためのパターンランゲージ」から 3 年が経過し、内容のブラッシュアップを重ね、ようやく福祉分野で実践の機会を得ることができました。パターンランゲージ\*1)については、JUAS「うえるパタ（私たちの Well-being パターン・ランゲージ）」、IPA「大人の学びパターン・ランゲージ（略称まなパタ）」など、続々と発信されています。本会合では、当研究会で作成した「理想の実現パターン」をメンタルヘルス研修に用いた実践事例を紹介し、参加者から議論をいただきます。

新型コロナウイルスの影響により、在宅ワークやオンラインでの会議やネットを通じた交流が社会生活に浸透しました。結果として生命情報を喚起する対話が不足していることが想定され、人と人との関係性に影響を与えていることが懸念されます。当研究会で作成した「理想の実現パターン」は、システムインテグレータで働くプロジェクトマネージャやシステム技術者を対象として作成しました。メンタルヘルスに関わる部分については働く人に共通であることから、IS 産業以外の業界にも適用可能であると考え提案活動した結果、採用され実践する機会を得ることができました。

当学会が明示する IS 産業のプロジェクトマネジメントの機能の 1 つである「プロジェクト・メンタル・プロセス」\*2)にとって、IS プロジェクトに根付かせるためにも、実践事例を元にした知見の蓄積は有用と考えます。

今回の会合では、「理想の実現パターン」で想定する以下の 7 つのカテゴリのうち、[E 信頼][F 両立][G 健康]の 3 つを使用した実践事例について報告し、IS 産業や IS 人材の育成にかかわる皆様からの議論をいただきます。

[A 共通理解：理想のプロジェクト][B 自律][C 成長][D 承認][E 信頼][F 両立][G 健康]

記

日時：2023 年 6 月 3 日（土）10 時 00 分～11 時 30 分

場所：オンライン（zoom を使用） 申込受付後、参加者の方には招待メールを送付致します。

参加費：不要

★参加ご希望の方は、メールで主査宛てにお知らせください。（〆切：5 月 30 日火曜日）

主査 三村和子（e-mail:kzkmimura■gmail.com）※■は@に置き換えてください。

\*1)パターン・ランゲージは、建築家クリストファー・アレクザンダーが提唱した住民参加型の町づくりを支援するために提唱された方法。ある「状況」で生じる「問題」をどのように「解決」すればよいのかという実践的な知を記述し、「デザイン」における経験則をパターンという小さな単位にまとめていく。ソフトウェア開発や教育、組織改革などの分野において、創造活動一般をデザインする方法として適用が広がっている。

参考文献：井庭崇 パターン・ランゲージ：創造的な未来をつくるための言語，慶応大学出版会，2013

\*2)新情報システム学体系調査研究委員会編，新情報システム学序説，一般社団法人情報システム学会，2014

従来より明示されている「プロジェクトマネジメント・プロセス」および「ソフトウェア・エンジニアリング・プロセス」に加えて、第 3 のプロセス「プロジェクト・メンタル・プロセス」が重要であると示されている。

IS マネージャ、IS 技術者、IS 企業／IS 部門の管理者の方、  
IS 技術者のやりがい醸成に関心のある方の多数のご参加をお待ちしています。